

報道資料

事業報告書

平成 24 年度(2012 年度)1 月 1 日～3 月 31 日

社団法人日本プロサッカーリーグ

〔 目 次 〕

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

- 1 J1リーグ戦
- 2 J2リーグ戦
- 3 リーグカップ戦
- 4 スーパーカップ

② 公式記録の作成、管理及び運用

- 1 試合記録
- 2 映像
- 3 静止画像

③ 表彰

- 1 スーパーカップ成績に対する表彰

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

- 1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂
- 2 Jリーグ クラブライセンス交付規則及び諸規程の制定
- 3 規約規程集の発行

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

- 1 プロサッカー選手の資格認定及び登録
- 2 プロサッカー選手のための研修会の開催
- 3 Jリーグ アカデミーの推進
 - (1) 選手一貫教育の実施
 - (2) 研修会等の実施
 - (3) 育成年代の試合環境整備の推進
 - (ア) NEXT GENERATION MATCH
 - (イ) Jリーグ U-16チャレンジリーグ
 - (ウ) Jリーグ U-14
 - (エ) Jリーグ U-13
 - (4) 地域とのネットワークづくり活動の促進
 - (5) 試合分析等
- 4 プロサッカーの監督及びコーチの登録
- 5 プロサッカーの審判員の養成及び登録
- 6 レフェリング分析のインターネット配信

② マッチコミッショナーの任命

- 4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - ① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - 1 スタジアム施設の検査、公式試合開催指定スタジアムの指定
 - 2 用具の認定
- 5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及
 - ① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約
 - 1 テレビ放送等に関する契約
- 6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
 - ① 各種委員会等による研修の実施
 - 1 管理スタッフ教育のための研修
 - 2 サッカーに関する情報収集のための研修
 - ② ドーピング検査の実施
 - 1 ドーピング検査の実施
 - ③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究
 - 1 セキュリティ研究会の開催
 - 2 スタジアム等サッカーの施設整備の推進
 - ④ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施及び各クラブの施策支援
 - ⑤ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施
 - 1 マーケティング研修会等の実施
 - ⑥ リーグ構造に関する研究
 - ⑦ クラブライセンス制度の導入及び実施
 - 1 Jリーグクラブライセンス交付規則及び諸規程の制定、施行
 - 2 クラブのJリーグ会員資格審査、経営状態の調査及び指導
 - 3 準加盟クラブの資格審査及び指導
- 7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - ① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - 1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施
 - 2 プロサッカー選手のキャリア教育
- 8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - ① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - 1 国際大会への参加
 - 2 国際親善試合の実施
- 9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
 - ① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進
 - 1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー
 - 2 地域スポーツ振興への支援

-3 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

- ① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及
 - 1 プロサッカーの試合開催の告知
 - 2 Jリーグの理念の告知
 - 3 Jリーグに関する広報誌、DVDの発行
 - 4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供
 - 5 Jリーグに関する出版物の発行
 - 6 Jリーグに関する情報サービス
 - 7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

11) その他目的を達成するために必要な事業

- ① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 スポンサー及びサプライヤー契約
- ② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
- ③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売
 - 1 商標の登録、管理
 - 2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作販売
 - 3 データ事業
- ④ コンプライアンス体制の構築
 - 1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業
 - 1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画
 - 2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務
- ⑥ Jリーグ20周年事業の実施
- ⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

平成24年度(2012年度)事業報告書

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

-1 J1リーグ戦

J1会員18クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催した。総入場者実数は616,540人、1試合平均は17,126人であった。

開催期間	3月10日(土)～3月31日(土) 主に土曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦 全36試合
出場クラブ	J1会員18クラブ

-2 J2リーグ戦

J2会員22クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催した。総入場者実数は289,576人、1試合平均は5,265人であった。

開催期間	3月4日(日)～3月25日(日) 主に日曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦、全55試合
出場クラブ	J2会員22クラブ

-3 リーグカップ戦

J1会員18クラブの参加によるカップ戦を有料で開催した。総入場者実数は62,436人、1試合平均は10,406人であった。

大会名	2012 Jリーグヤマザキナビスコカップ
開催日	予選リーグ第1戦 3月20日(水)
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	ホーム&アウェイ方式 AFCチャンピオンズリーグ出場の4クラブ(柏レイソル、名古屋グランパス、ガンバ大阪、FC東京)は予選リーグをシード。
出場クラブ	J1会員18クラブ

-4 スーパーカップ

日本サッカー界の2大タイトルを制したクラブの対戦による公式試合を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。なお、入場者実数は35,453人であった。

大会名	FUJI XEROX SUPER CUP 2012
開催期日	3月3日(土)
開催場所	国立競技場
大会方式	2011 Jリーグチャンピオン(柏レイソル) vs 第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝(FC東京)
結果	柏レイソル 2-1 FC東京

成績 優勝 柏レイソル
準優勝 FC東京

② 公式記録の作成、管理及び運用

-1 試合記録

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の記録の作成及び収録、保管及び管理、試合速報等の販売を(株)Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

(業務委託先：(株)Jリーグメディアプロモーション (株)Jリーグメディアプロモーションは、データスタジアム(株)と協力してJリーグデータセンター運営業務を行った。)

-2 映像

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の映像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を(株)Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

-3 静止画像

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式行事及び公式行事の静止画像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理をJリーグフォト(株)に委託し行った。

③ 表彰

-1 スーパーカップ成績に対する表彰

■FUJI XEROX SUPER CUP 2012

優勝 柏レイソル 賞金30,000,000円、
富士ゼロックス スーパーカップ、メダル
準優勝 FC東京 賞金20,000,000円、メダル

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

-1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂

定款の内容を補完及び公益法人化への対応を目的とするリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂作業を行った。

-2 Jリーグ クラブライセンス交付規則及び諸規程の制定

アジアサッカー連盟加盟諸国に2013年シーズンからの導入が求められている「クラブライセンス交付規則」につき、日本国内の規程として「Jリーグクラブライセンス交付規則」及び「Jリーグクラブライセンス交付規則運用細則」を施行した。

-3 規約規程集の発行

定款、規約及び諸規程を記載した規約規程集、Jリーグクラブライセンス交付規則及び諸規定等を記載した冊子を作成し、サッカー関係者、マスコミ等を対象に頒布した。

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

-1 プロサッカー選手の資格認定及び登録

本リーグのプロサッカー選手を対象に、財団法人日本サッカー協会発行の選手契約書等による契約など資格要件に沿って選手登録を行った。

-2 プロサッカー選手のための研修会の開催

初めてプロ契約を締結する選手を対象に新人研修会を実施する他、Jリーグの理念の訴求やルール徹底のため、全選手を対象に講習会を行った。

研修会名	新人研修会
開催期日	2月1日(水)～3日(金)
対象者	J1及びJ2会員クラブの初めてプロ契約を締結する選手
会場	ヤマハリゾート つま恋

-3 Jリーグ アカデミーの推進

育成年代の一貫指導体制、リーグ戦、指導者養成、トレーニング環境、メディカル体制の充実を図り、そのノウハウを広く共有した。

- ・ 各クラブがホームタウンで実施している子どもたちの人間性や社会性を育む活動を推進し、地域とのネットワークづくりをサポートした。
- ・ 変動する現代社会に左右されがちな子どもたちの発育を医科学的に分析し、国民の心身の健全な発達に寄与するよう努めた。

(1) 選手一貫教育の実施

Jクラブのアカデミーの選手育成のため、サッカーの技術面だけでなく、子どもたちの問題解決能力や考える力を引き出す等、人間性や社会性を育む活動を行うことを目指し、「キャリア支援プログラム」実施に向けてのスケジュール策定等準備を行った。

研修会名	キャリアデザイン支援プログラム（通称：Jリーグ版[よのなか]科） 講師研修会
開催期日	2月6日（月）
対象者	J1及びJ2会員クラブの研修講師
会場	JFAハウス

(2) 研修会等の実施

Jクラブの育成責任者（アカデミーダイレクター）及びコーチの養成を目的とした研修会を実施した。また、世界で活躍する選手の育成を目的として、Jクラブのアカデミーよりポテンシャルの高い選手を選抜し、強化トレーニングを実施した。

Jリーグ アカデミーダイレクター マネジメント研修

開催日	①1月19日（木）～20日（金） ②3月15日（木）～16日（金）
対象者	J1及びJ2会員クラブの育成責任者 （アカデミーダイレクター）
会場	JFAハウス

Jリーグ アカデミーコーチ研修
開催方法 J 1 及び J 2 会員を 2 グループに分け実施
開催期日 ① 2 月 2 0 日～2 月 2 4 日
② 3 月 5 日～3 月 9 日
対象者 J 1 及び J 2 会員クラブのアカデミーコーチ
会場 福岡・グローバルアリーナ

(3) 育成年代の試合環境整備の推進

1 人でも多くの優秀な選手を輩出するために、育成年代の試合環境の整備を推進した。

(ア) NEXT GENERATION MATCH

FUJI XEROX SUPER CUP 2012 の付帯イベントとして
NEXT GENERATION MATCH を実施した。

開催期間 3 月 3 日
開催場所 国立競技場
対戦結果 U-18 Jリーグ選抜 (3-0) 日本高校サッカー選抜

(イ) Jリーグ U-16 チャレンジリーグ

開催期間 3 月 1 7 日～3 月 2 8 日
開催場所 ① J-GREEN 堺 (大阪府)
② 鹿島ハイツスポーツプラザ (茨城県)
③ 時之栖スポーツセンター (静岡県)
大会方式 参加クラブを 4 会場に分け、1 回戦総当たりおよびノックアウト方式による対戦を実施した。
出場クラブ J 1 会員、J 2 会員クラブのユースチーム (計 3 8 チーム)

(ウ) Jリーグ U-14

開催期間 2 0 1 1 年 4 月～2 0 1 2 年 3 月
開催場所 各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式 参加クラブを 3 ブロックに分け、ホーム&アウェイ方式による 2 回戦総当たりリーグ戦を実施した。
※ 1 月～3 月 2 1 試合実施
出場クラブ J 1 及び J 2 会員クラブのジュニアユースチームと日本クラブユースサッカー連盟所属チーム (計 4 4 チーム)

(ウ) Jリーグ U-13

開催期間 2 0 1 1 年 4 月～2 0 1 2 年 3 月
開催場所 各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式 参加クラブを 5 ブロックに分け、ブロック別に大会方式を決定し、実施した。
・ホーム&アウェイ方式による 2 回戦総当たりリーグ戦
・ホーム or アウェイ方式による 1 回戦総当たりリーグ戦
※ 1 月～3 月 1 0 8 試合実施予定
出場クラブ J 1 及び J 2 会員クラブのジュニアユースチーム、日本クラブユースサッカー連盟所属チーム、財団法人日本中学校校体育連盟所属の中学校チーム (計 1 1 7 チーム)

(4) 地域とのネットワークづくり活動の促進

各クラブが主体となり、サッカーを「する」「見る」「支える」というさまざまな参加スタイルを提案し、誰もがサッカーを楽しみ、サッカーが生涯スポーツとして定着していけるような普及活動を促進した。

(5) 試合分析等

育成年代の一貫指導体制の充実を図るために、育成年代の試合分析を行った。各年代の課題及び特徴をつかみ、コーチ養成の充実を図った。また、Jクラブのアカデミーの情報共有を促し、育成環境の整備を促進した。

-3 プロサッカーの監督及びコーチの登録

Jリーグ規約に従って、Jクラブの監督及びコーチの資格要件を確認し、Jリーグへの登録を行うとともに、Jクラブが新規に契約する外国人監督の資格審査申請の窓口となり、財団法人日本サッカー協会の承認を受け、Jリーグへの登録を行った。また、シーズン前にすべてのJクラブ監督を対象に監督会議を開催した。

研修会名	監督会議
開催期日	3月2日(金)
対象者	J1及びJ2会員クラブの監督(40名)
会場	東京・東京プリンスホテル

-4 プロサッカーの審判員の養成及び登録

Jリーグの主催試合の審判員に対する資格要件に沿って、主審、副審を登録した。また審判員の技術向上を目的として各種研修会を実施した。

研修会名	Jリーグ担当審判員開幕前研修会
開催期日	3月2日(金)、3日(土)
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	東京・JFAハウス、日本青年館、国立競技場

研修会名	レフェリング分析
開催期日	J1・J2リーグ戦、Jリーグヤマザキナビスコカップ開催期間 (J2リーグ戦 3回、Jリーグヤマザキナビスコカップ 1回)
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	各地

研修会名	プロフェッショナル契約レフェリーキャンプ
開催期日	1～3月(3回)
対象者	プロフェッショナル契約レフェリー13名
会場	静岡・清水ナショナルトレーニングセンターJ-STEP、鹿児島・国 公運動公園

-5 レフェリング分析のインターネット配信

Jリーグ担当審判員のレフェリングの質を高めることを目的に、Jリーグ担当審判員に向けてインターネットを使用した情報配信を行った。

② マッチコミッショナーの任命

サッカーの試合の運営、競技、スタジアム施設等、試合における全てを管理するマッチコミッショナーを任命し、心得、任務に伴う諸事項の最終確認のため研修会を実施した。

研修会名	Jリーグマッチコミッショナー研修会
開催期日	2月25日(土)
対象者	2012 Jリーグマッチコミッショナー
会場	東京・JFAハウス

4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

-1 スタジアム施設の検査・公式試合開催指定スタジアムの指定

高水準のサッカーの試合及び試合運営を行うため、スタジアム検査要項に基づき、使用予定のスタジアムを検査し、公式試合開催指定スタジアムを指定した。

札幌ドーム、札幌厚別公園競技場、ユアテックスタジアム仙台、NDソフトスタジアム山形、福島県あづま陸上競技場、県立カシマサッカースタジアム、ケーズデンキスタジアム水戸、栃木県グリーンスタジアム、正田醤油スタジアム群馬、埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアム大宮、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場、フクダ電子アリーナ、日立柏サッカー場、味の素スタジアム、国立競技場、西が丘サッカー場、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場、町田市立陸上競技場、等々力陸上競技場、日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、Shonan BMWスタジアム平塚、山梨中銀スタジアム、松本平広域公園総合球技場、東北電力ビッグスワンスタジアム、富山県総合運動公園陸上競技場、アウトソーシングスタジアム日本平、静岡スタジアム エコパスタジアム、ヤマハスタジアム(磐田)、名古屋市瑞穂陸上競技場、豊田スタジアム、岐阜メモリアルセンター長良川競技場、京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場、万博記念競技場、大阪長居スタジアム、キンチョウスタジアム、ホームズスタジアム神戸、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場、Kankōスタジアム、岡山県津山陸上競技場、広島ビッグアーチ、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム、ニンジニアスタジアム、レベルファイブスタジアム、佐賀県総合運動場陸上競技場、北九州市立本城陸上競技場、ベストアメニティスタジアム、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)、熊本市水前寺競技場、大分銀行ドーム、鹿児島県立鴨池陸上競技場

-2 用具の認定

高水準のサッカーを行うため、モルテン製『TANGO 12』を公式試合の試合球として認定を行った。

5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約

-1 テレビ放送等に関する契約

リーグ戦その他公式試合のテレビ放送について、スカパーJ S A T (株)、NHK等と放送権契約を行った。

6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導

① 各種委員会等による研修の実施

-1 管理スタッフ教育のための研修

管理スタッフの教育・育成のため、各種委員会等で必要に応じ、国内外において研修を行った。

研修会名	チームドクター研修会
開催期日	1月15日(日)
対象者	J1及びJ2会員クラブのチームドクター
会場	東京・JFAハウス

研修会名	アスレティックトレーナー研修会
開催期日	1月6日(金)
対象者	J1及びJ2会員クラブのアスレティックトレーナー、フィジオセラピスト、マッサー
会場	東京・JFAハウス

-2 サッカーに関する情報収集のための研修

サッカー及びそれに伴う事業に関する情報収集のため、国内外において研修や調査を実施した。

② ドーピング検査の実施

-1 ドーピング検査の実施

選手が薬物の使用等により不正に競技能力を高めることを防止するため、Jリーグの公式試合においてドーピングテストを実施した。

③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究

-1 セキュリティ研究会の開催

試合運営に必要な危機管理・安全管理に関する情報の共有及び調査研究を目的とし、研究会を開催した。

開催期日	2月10日(金)
対象者	J1及びJ2会員クラブのセキュリティ担当者
研修先	東京・JFAハウス

-2 スタジアム等サッカーの施設整備の推進

クラブや地方公共団体等が今後サッカースタジアムを設置または改修しようとする際の調査、企画等に協力し、具体的な助言、提案を行った。

④ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施及び各クラブの施策支援

スタジアムへの集客を中心とした既存ファンの満足度向上及び新規ファン獲得を狙いとした施策の企画立案を各クラブとともに行った。

また、Jリーグの試合会場で、専用の非接触ICカードや二次元コード入りのチケットを専用端末にかざしてスタジアムに入れる「ワンタッチパス」サービスにより、観客サービスの向上につながる環境整備を行った。

チケット購入の間口を広げる新たな取り組みとして、Jリーグのチケットポータルサイト「Jリーグチケット」を開設、運用を開始した。

⑤ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施

－1 マーケティング研修会等の実施

効果的なマーケティング活動を展開するため、リーグならびにクラブのスタッフを対象とした研修会等を実施した。

研修会名	スタジアム観戦者調査報告会
開催期日	2月2日（木）
対象者	J1及びJ2会員クラブのファンディベロップメント担当者
担当者	仲澤 眞（筑波大学）
会場	東京・JFAハウス

⑥ リーグ構造に関する調査、研究

J2と日本フットボールリーグ（JFL）間の入れ替え制度のほか、Jリーグの構成や構造に関する調査研究を行った。

⑦ クラブライセンス制度の導入及び実施

－1 クラブライセンス交付規則及び諸規程の制定、施行

クラブライセンス制度の2013シーズンからの導入に向け、交付規則及び運用細則を制定し、施行した。

－2 クラブのJリーグ会員資格審査、経営状態の調査及び指導

クラブライセンス制度に基づき、クラブ 経営に関する調査及び分析を行い、健全なクラブ経営を確立するための指導を行った。

－3 準加盟クラブの資格審査及び指導

将来Jリーグ会員になることを具体的な目標とするクラブが一定の基準を満たした場合、これを準加盟クラブと認定し、クラブライセンス制度に基づき当該クラブが健全に発展できるよう指導を行った。

■既認定準加盟クラブ：S. C. 相模原、カマタマーレ讃岐、V・ファーレン長崎

7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

－1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施

プロサッカー選手を対象に、福利厚生事業の一環として死亡及び後遺障害に対し、Jリーグ災害補償制度に基づくファミリー労働災害補償保険の付保を行った。

-2 プロサッカー選手のキャリア教育

プロサッカー選手が社会人、およびプロアスリートとして充実した生活を営むためのさまざまなキャリア支援を行うため、プログラム策定を各クラブと連携して行った。

- ・選手向け就学支援制度を策定・運営し、大学進学、eラーニング、英会話など学ぶ意欲の高い選手に対してサポートを行った。
- ・Jリーグ登録抹消選手のセカンドキャリア支援として、キャリアカウンセリングを実施した。

8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

-1 国際大会への参加

■ AFCチャンピオンズリーグ2012

アジアサッカー連盟主催のAFCチャンピオンズリーグ2012に、柏レイソル（2011 Jリーグ優勝）、名古屋グランパス（2011 Jリーグ準優勝）、ガンバ大阪（2011 Jリーグ3位）及びFC東京（第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝）がグループステージから出場した。

グループE

期日	対戦・結果		場所
3月6日(火)	ガンバ大阪	0 vs 3 浦項スティーラーズ	万博記念競技場
3月20日(火)	アデレード・ユナイテッド	2 vs 0 ガンバ大阪	ハインドマーシュスタジアム

グループF

期日	対戦・結果		場所
3月6日(火)	ブリスベン・ロアー	0 vs 2 FC東京	ブリスベンスタジアム
3月20日(火)	FC東京	2 vs 2 蔚山現代	国立競技場

グループG

期日	対戦・結果		場所
3月7日(水)	名古屋グランパス	2 vs 2 城南一和	名古屋市瑞穂陸上競技場
3月21日(水)	セントラルコースト・マリナーズ	1 vs 1 名古屋グランパス	セントラルコーストスタジアム

グループマッチ： グループH

期日	対戦・結果		場所
3月7日(水)	ブリーラム・ユナイテッド	3 vs 2 柏レイソル	ブリーラムスタジアム
3月21日(水)	柏レイソル	5 vs 1 全北現代モータース	日立柏サッカー場

-2 国際親善試合の実施

Jリーグが主催となり、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流及び親善を図るため、国際親善試合を開催した。

期日	対戦・結果	試合会場
2月25日(土)	大宮アルディージャ 1 vs 1 杭州绿城(中国)	NACK5 スタジアム大宮

9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

-1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー

Jリーグの設立趣旨の具現化に向けた各クラブの活動状況の実状及び計画を調査し、それに基づいて、各クラブが関連自治体及び地域サッカー協会等と一体となって『地域に根ざしたスポーツクラブ作り』を行うよう指導するとともに、各クラブに対しその活動のための支援を行った。併せて、Jリーグ設立趣旨の全国への浸透を図った。

-2 地域スポーツ振興への支援

各クラブが主体となり、活動区域においてその地域のスポーツ振興のためにサッカー（一部除く）以外のスポーツを開催する場合、1行事につき100万円を上限として支援した。

クラブ名	行事名	対象種目	形式	参加対象者	開催期間	場所
仙台	ベガルタ仙台介護予防教室	健康体操教室、栄養講習会	教室	宮城県内の高齢者	1月～3月	宮城県内
山形	女子駅伝支援事業	駅伝	教室、チーム	教室：小学5、6年生～中学生	1月～3月	山形県内、他全国
水戸	水戸ホーリーホック 女子ラグビー強化プロジェクト	女子ラグビー	教室	小・中学生	1月～3月(月2回)	水戸市サッカー・ラグビー場(ツインフィールド)ほか
	チアリーディング事業	チアリーディング	教室	未就学児～小学生	1月～3月	シダックス水戸西原
浦和	レッズランド テニススクール	テニス	教室	キッズ(年中・年長)～一般	通年(週3回)	レッズランド内テニスコート
	レッズランド ランニングスクール	ランニング	教室	レッズランド会員および小学生以上の地域住民など	通年(週1～2回)	レッズランドハウス2Fおよびフィールド周辺エリア
大宮	第5回大宮アルディージャ杯 グラウンド・ゴルフ大会	グラウンドゴルフ	大会	さいたま市グラウンド・ゴルフ協会大宮支部の会員	2月4日	さいたま市堀崎グラウンド
千葉	第37回春季家庭婦人バレーボール大会	バレーボール	大会	市原市家庭婦人バレーボール連盟に加盟しているチーム	2月25日(土)、3月4日(日)	市原市臨海体育館

川崎 F	青空健康教室	ウォーキング、ピラティス、ヨガ、グラウンドゴルフなど	教室	地域で生活する女性、中高齢者	1月～3月	フロントタウンさぎぬま
湘南	湘南ベルマーレビーチバレーチーム	ビーチバレー	大会 教室 チーム	【チーム】選手 【大会・教室】小学生～一般	1月～3月	湘南ひらつかビーチセンターほか
	2011年 健康づくり教室	ハイキング、ウォーキング	教室	中高齢者	1月～3月(4会場・週1回づつ)	馬入アリーナ体育館、厚木市東町体育館、小田急百貨店屋上、上府中公園 ほか
甲府	キャメリアヘルスアップウォーキング	ウォーキング、体操、軽運動	教室	県内 60 歳以上	1月～3月	昭和町押原公園
磐田	ジュビロジュニアチアスクール	チアリーディング	教室	小学生～高校生の女子	1月～3月	サーラプラザ浜松/ヤマハスタジアム
広島	平成23年度 スポーツスクールの開催	バドミントン、バレーボール、バスケットボール、テニス	教室	小中学生の男女	1月～3月	ひろぎんの森、広島県スポーツ会館
愛媛	愛媛 FC 精神障がい者フットサル教室&フットサル大会	障がい者フットサル	大会、教室	精神障がい者(医療機関で入院・通院治療中である者)	1月～2月(月2回)	愛媛フットサルパーク
福岡	アビスパ福岡視覚障がい者サッカー支援活動	障がい者サッカー	チーム、指導者派遣	視覚障がい者	1月～3月	福岡県立福岡高等学校

-3 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

各クラブのスタジアム・練習施設等の改善に関する検討および支援を行った。

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

-1 プロサッカーの試合開催の告知

プロサッカーの試合の日時、対戦カード、開催会場等の告知をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体を通じて行った。また、リーグ戦のプロモーションビデオを製作し、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知した。

-2 Jリーグの理念の告知

Jリーグの理念を伝えることを目的としたメッセージビデオ及びポスターを製作し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知し、一般大衆に理念を浸透させた。また、Jリーグ百年構想のイメージキャラクター「Mr. ピッチ」を地域スポーツの振興活動に派遣し、PRを行った。

-3 Jリーグに関する広報誌、DVD(ビデオ)の発行

Jリーグ及び各クラブの動向をサッカー関係者、メディア等に伝えることを目的とした広報誌「Jリーグニュース」を発行し、上記関係者に無償配布した。

-4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供

Jリーグの国際的な認知度を高めることを目的としてインターネット（英語版）にJリーグの情報を提供した。

-5 Jリーグに関する出版物の発行

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、大会趣旨、日程及びスタジアム紹介等プロサッカーに関する情報を掲載した「Jリーグオフィシャルファンズガイド2012」及び前年度の公式試合の記録集である「Jリーグイヤーブック2012（公式記録集）」を発行した。
- (2) 「Jリーグ公式DVD」（(株) Jリーグメディアプロモーション発行）、「Jリーグカレンダー」（Jリーグフォト(株)発行）等の監修、Jリーグ主催試合の公式プログラム等の発行を行った。

-6 Jリーグに関する情報サービス

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、日程、チケット販売クラブ情報及びその他プロサッカーに関する情報サービスをインターネット公式ホームページ（委託先：(株) Jリーグメディアプロモーション）及び「J's GOAL（インターネット）」（委託先：(株) Jリーグメディアプロモーション）を通じて行った。
- (2) 「Jリーグオフィシャルファンズガイド2012」及び「Jリーグイヤーブック2012（公式記録集）」を主要メディアに無償で配布した。

-7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

Jリーグの理念及び活動、またサッカーという競技をメディア関係者により深く理解してもらうために各主要地域において懇談会を実施した。

11)その他目的を達成するために必要な事業

① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 スポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグの定款目的に賛同する企業等を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。契約締結企業は以下のとおり。

■Jリーグトップパートナー

カルビー（株）、キヤノン（株）／キヤノンマーケティングジャパン（株）、（株）コナミデジタルエンタテインメント、（株）アイデム、日本コカ・コーラ（株）、日本マクドナルド（株）

■Jリーグ百年構想パートナー

朝日新聞社

■Jリーグフェアプレーパートナー

東京エレクトロン（株）

■リーグカップスポンサー

ヤマザキナビスコ（株）

- スーパーカップスポンサー
富士ゼロックス (株)
- Jリーグオフィシャルエクイップメントパートナー
アディダスジャパン (株) / (株) モルテン
- Jリーグオフィシャルサプライヤー
ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) ビジョンケアカンパニー
- Jリーグオフィシャルブロードキャストリングパートナー
スカパー J S A T (株)
- スポーツ振興パートナー
独立行政法人日本スポーツ振興センター
- Jリーグオフィシャルチケッティングパートナー
ぴあ (株)
- 90° システム広告スポンサー
日本コカ・コーラ (株)
- ユニフォームサプライヤー
(株) アシックス、(株) アスレタ、アディダスジャパン (株)、(株) ウインスポーツ、
(株) エスエスケイ、(株) カレッジリーグ、(株) ゴールドウイン、(株) デサント、(株)
ドーム、(株) ナイキジャパン、プーマジャパン (株)、(株) フェニックス、(株) ポ
リウム、(株) マイノリティー、ミズノ (株)、ヨネックス (株)、(株) ロイヤル、
(株) ワコール

② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグと共同事業を行う企業とともにJリーグの定款目的に賛同する企業を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。

③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売

-1 商標の登録・管理

Jリーグに関するマーク、デザイン等を保護するため、商標登録を行い、管理した。

-2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作販売

Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作、販売を(株) Jリーグエンタープライズ等を通じて行った。

-3 データ事業

公式試合を分析、個々のプレー等をデータベース化し、各種データを編集、販売した。
(ライセンス契約先：(株) Jリーグメディアプロモーション)

④ コンプライアンス体制の構築

-1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究

Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアル策定を視野に入れ、ヒアリング等により事例検討を行った。特に試合結果の不正操作(八百長)に関する注意喚起のため、反社会的勢力に対する施策を行った(暴力団排除宣言(2月14日)、暴排ヘルプラインの設置等)。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業

-1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画

福島県にあるサッカートレーニング施設・Jヴィレッジ（株）日本フットボールヴィレッジの運営に財団法人日本サッカー協会と共同で参画することにより、日本サッカーの強化・普及に寄与した。また、Jリーグ関連3社への運営に参画することにより、Jリーグ経営基盤の拡大、サッカーの普及及びスポーツ振興に寄与した。

（なお、Jヴィレッジは、福島第一原子力発電所事故に伴い、2011年3月15日以降スポーツ施設としては全面閉鎖し、国が管理する原発事故の対応拠点となっている。）

■株式保有（全株式の20%以上）をしている営利企業

名称： (株) ジェイリーグエンタープライズ
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 36,000,000円
事業内容： Jリーグ、Jクラブ、及びサッカー日本代表のロゴ・キャラクター等を使用した商品の開発、販売及びサブライセンスの管理、サッカーに関する広告・宣伝業務等を行う。
役員数： 8名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 24名

当該公益法人が保有する株式数及びその割合：

27,000株／37.5%

保有する理由： Jリーグ経営基盤拡大等の見地から、当社の設立意義、業務形態等を勘案し、平成7年3月に増資された際に発行株式総数の33.3%を保有した。平成11年1月横浜フリューゲルス消滅に伴い、運営会社全日空スポーツ（株）の保有株式の譲渡を受け、Jリーグの保有比率は37.5%となった。平成11年3月、当社はJリーグとの間で、商品化権に関する基本契約を締結し、Jリーグ並びにJクラブの名称、ロゴ、マーク、商標等を使用する権利を取得し、業績拡大の礎を築いた。平成20年3月より、Jリーグ公式戦における看板運営業務並びにJリーグ主催イベント運営管理業務をJリーグより受託した。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び商品化権料受領

名称： Jリーグフォト（株）
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の静止画像（スチール写真）を記録・保存し、質の高いサッカー写真の提供サービスを行う。また、スチール写真を一括管理することで選手・監督・コーチ等の肖像権を守る役割も担う。
役員数： 10名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 6名

当該公益法人が保有する株式数及びその割合：

240株／40%

保有する理由： 当社が静止画像を系統的に記録し、一元的に管理運用することはサッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、肖像権の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要がある、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び商品化権利受領

名称： (株) Jリーグメディアプロモーション

事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス8階

資本金： 30,000,000円

事業内容： Jリーグ公式試合等の映像を一元管理し、映像の記録・保存、権利等の管理を行う。また、保存されている映像を、国内外を問わず、ニーズに応じて様々な形で提供し、Jリーグの広報・サッカーの普及活動に繋げる。

役員数： 8名

代表者： 中野 幸夫

従業員数： 16名

当該公益法人が保有する株式数及びその割合：

204株／34%

保有する理由： 当社が映像資料を系統的に記録し、一元的に管理運用することは、サッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、諸権利の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要がある、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び放映権利受領

-2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務

スポーツ振興投票の実施等に関する法律に基づき、スポーツ振興投票対象試合開催機構としての指定を受け、同法に定められた範囲内での業務を行い、日本のスポーツ振興に寄与した。

⑥ Jリーグ20周年事業の実施

Jリーグ設立20周年に関連する事業等の企画立案を実施した。

⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

東日本大震災の被災地を支援するため、「チカラをひとつに。－TEAM AS ONE－」のスローガンのもと、Jクラブ、選手、ファン・サポーター、スポンサー等と協力し、募金活動をはじめとする復興支援活動を行った。

以上